

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.224 (2010年7月13日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

7月15日(木) 連合徳島五役会議 10時(連合徳島会議室)

16日(金) 中小労働対策本部幹事会 18時30分

24日(土) ボランティア養成講座「連合の森草刈り作業」

11時 美馬市木屋平「中尾山・平成荘」

当
面
の
日
程

吉田ます子さん5,800票差で敗れる 連合比例候補は10人当選

6月24日公示、7月11日投票の第22回参議院議員選挙は、民主党は改選議席の54を割り込む44議席にとどまり敗北した。今回の参議院選挙の結果は、私たちにとって非常に厳しい結果となった。連合比例候補は11人中10人の当選を勝ち取ったものの、全体として得票数は大きく減少となった。

また、選挙区選挙においては、連合徳島推薦候補「吉田ます子」の必勝に向け具体的な活動を展開し136,934票を獲得したものの、自民党候補に5,829票の差で敗れ、議席獲得はならなかった。

その結果、民主党の大敗により参議院における与野党勢力が逆転し、ねじれ現象が生じることになった今回の参議院選挙が、政権交代後10ヶ月で政権運営にとっても、働く者が希望と安心の持てる社会づくりにとっても厳しい局面を生み出すこととなった。連合徳島もこの結果をしっかりと総括したうえで、組織的な弱点を克服し、更に一丸となってさまざまな取り組みを推し進めていかなければならない。

今回の参議院選挙に全力で取り組まれた各構成組織・地協・地区協の役員・組合員のみなさんとご家族、退職者のみなさんに敬意を表すとともに、この間の取り組みに心より感謝を申し上げます。



古賀会長「与党は、真摯な協議で 国民・生活者の視点に立った国会運営を」

第22回参議院選挙の開票結果を受けて7月12日に連合本部で記者会見が行われた。古賀会長は、「今回の選挙には、昨夏の政権交代を受けて、新しい社会づくりに向けた土台を固めるという重要な位置付けがあり、全国の構成組織・地方連合会はその認識のもとに努力をしてきた。結果は残念なものとなったが、比例区で民主党が獲得した票は自民党を上回っており、国民全体として与党に反対の意思表示がされた訳ではない」と述べた。

その上で古賀会長は「民主党には挙党一致態勢で困難を乗り越え、真の政権与党になっていくことを期待するとともに、今後の国会運営にあたっては与野党ともに国民・生活者の視点に立ち、山積する課題について真摯に協議し、生活と将来への不安が払拭されるような国会運営をしてほしい」と述べた。

比例区推薦候補の結果について古賀会長は、今回は全員当選が果たせず、個人

名の獲得数も前回の182万票から159万票と低下したことについて、「われわれの問題として、組合活動と政治活動との関係を改めて組織内に浸透していかなければならない」と述べた。

連合「事務局長談話」を発表

参議院選挙の結果を受けて、連合は12日、事務局長談話を公表した。

談話では、今回の選挙結果について「大変残念である」として上で、菅首相の「消費税」発言とその後の対応が有権者の不満につながったと分析。

その一方で菅首相に対して、党として一致結束し、真摯な論議と合意形成にもとづく政権運営によって国民の期待と信頼に応えるよう要望するとともに、連合として労働者派遣法案等の重要法案の早期成立をはじめ、「希望と安心の社会づくり」に向けて、今後も民主党政権を全面的に支援していくとしている。

**連合推薦候補
選挙区26名、
比例区10名が当選**